

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	胃内視鏡粘膜下層剥離術時のデクスメトミジン塩酸塩併用によるESD帰宅後の安全性と有用性の検討
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：北村陽子
他の研究機関および各施設の研究責任者	
本研究の目的	背景 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)には、鎮静が不可欠である。デクスメトミジン塩酸塩(DEX)は、鎮静・鎮痛薬と併用投与すると全体的な総投与量が減少し、酸素飽和度低下頻度が減少することが報告されている。しかし、術後帰宅後の安全性・有用性の報告は少ない。当院では鎮静・鎮痛は、ミダゾラムとペンタゾシンを使用していたが、2017年1月よりDEXを導入した。 目的 DEX使用に伴う術後の安全性に注目し、DEX併用の有効性・安全性を評価すること。
調査データの該当期間	2012年4月から2023年12月
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	当院で内視鏡室でESDを施行した胃癌の方の、臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の 他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないように行う。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L : 0742-24-1251 担当者：消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子

備考	
----	--